

平成 29年 09月 04日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書
【平成29年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称 地域木造優良(ちきゆう)住宅国産材モデル『岡山の家』

グループの名称 岡山県建築工事業協会

直近採択グループ番号 04-0359-0608

(グループ代表者)

代表者名 中桐 潔 代表者印
代表者所属先 倉敷木材株式会社
代表者所在地 岡山県倉敷市中島1000-1
代表者電話番号 086-465-3322

(グループ事務局)

事務局事業者名 岡山県建築工事業協会
事務局担当者名 三宅 伸拓 印
事務局郵便番号 710-0803
事務局所在地 岡山県倉敷市中島946-1
事務局電話番号 086-441-0611
事務局FAX 086-441-0641
事務局担当者E-mail green-biz@kuramoku.com

B. 平成29年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数(必須)	長寿命型(長期優良住宅) 経験工務店による申請戸数	申請が確実(上限100万円)		12	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		8	戸				
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)			戸				
		申請が未確定(上限100万円)		19	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)		9	戸				
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)		4	戸				
	長寿命型(長期優良住宅) 未経験工務店による申請戸数	申請が確実(上限100万円)		1	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)			戸				
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)			戸				
		申請が未確定(上限100万円)		1	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)			戸				
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)			戸				
	高度省エネ型 (認定低炭素住宅)の申請戸数	申請が確実(上限100万円)			戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)			戸				
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)			戸				
		申請が未確定(上限100万円)		2	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)		1	戸				
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)		1	戸				
	高度省エネ型 (性能向上計画認定住宅)の申請戸数	申請が確実(上限100万円)			戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)			戸				
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)			戸				
		申請が未確定(上限100万円)			戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)			戸				
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)			戸				
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー) 経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	申請が確実(上限150万円)			戸						
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)			戸					
		上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)			戸					
	申請が未確定(上限150万円)		2	戸						
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)		2	戸					
		上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)		2	戸					
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー) 未経験工務店(4戸(8戸)未満)による申請戸数	申請が確実(上限165万円)		1	戸						
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		1	戸					
		上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		1	戸					
	申請が未確定(上限165万円)		2	戸						
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)		1	戸					
		上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)		1	戸					
C. 平成29年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数	申請が確実	棟	/						
			m ²							
		申請が未確定	棟							
			m ²							
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール(必須)	最低1戸/社に配分するが、1戸/社の配分戸数を超えた戸数について、又は、1戸/社の配分戸数に満たない場合は抽選とする。利用期間を設定し、消化していない戸数はその後先着順として受け付ける。									
E. 平成28年度の執行状況(必須)	長寿命型(長期優良住宅)									
	当初予算	採択戸数	14	戸	交付申請戸数	11	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	10	戸
	補正予算	採択戸数		戸	交付申請戸数		戸	完了実績(竣工予定含む)戸数		戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)									
	当初予算	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	1	戸
	補正予算	採択戸数		戸	交付申請戸数		戸	完了実績(竣工予定含む)戸数		戸
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)									
	当初予算	採択戸数		戸	交付申請戸数		戸	完了実績(竣工予定含む)戸数		戸
	補正予算	採択戸数		戸	交付申請戸数		戸	完了実績(竣工予定含む)戸数		戸
	高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)									
	当初予算	採択戸数	4	戸	交付申請戸数	4	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	4	戸
	補正予算	採択戸数		戸	交付申請戸数		戸	完了実績(竣工予定含む)戸数		戸
優良建築物型										
当初予算	採択棟数		棟	交付申請戸数		棟	完了実績(竣工予定含む)棟数		戸	
当初予算	採択床面積		m ²	交付申請床面積		m ²	完了実績(竣工予定含む)床面積		m ²	

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 地域木造優良(ちきゆう)住宅国産材モデル『岡山の家』	(地域型住宅供給対象地域) 岡山県全域 及び 近県
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) 岡山県建築工事業協会	(結成年) 1995 年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	04-0359-0608	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取り組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能		
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式		
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	この豊かで美しい自然に囲まれた岡山県には、歴史や文化の薫り高い街並みや建造物が数多く有しており、風格や味わいを感じさせる魅力ある「おかやま」のイメージを創りだしている。その景観を将来世代に残す為、長期にわたり良好な状態で使用するための措置が講じられた地域型住宅の普及や環境負荷の低減を図った住まいづくりを、提供していく事とする。	○
④ ①～③の背景		
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	地盤調査を行い改良が必要な場合は改良工事を行い地盤保障を受ける。	◎
イ. 効率的な住宅生産体制の整備		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①-1 用材の寸法規格化	■ 行っていない □ 行っている → 内容:	
①-2 使用建材の統一	■ 行っていない □ 行っている → 内容:	
①-3 標準仕様の設定	■ 行っていない □ 行っている → 内容:	
②-1 建材・資材調達共同化	■ 行っていない □ 行っている → 内容:	
②-2 調達事務の合理化	■ 行っていない □ 行っている → 内容:	
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	■ 行っていない □ 行っている → 内容:	
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	■ ない □ ある → 内容:	
b		
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	□ ない ■ ある → 内容: 一般社団法人JBNを編集した「木造住宅工事管理の実務」は、公邸順に現場管理の要点をまとめた実践的手引書であり、これに沿うことで施工基準の整備を行う。	◎
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	□ ない ■ ある → 内容: 一般社団法人JBNを編集した「木造住宅工事管理の実務」に記載されている「木造住宅施工状況現場検査チェックシート」を活用。	◎
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	■ ない □ ある → 内容:	
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	□ ない ■ ある → 内容: 私たちは、地域から必要とされ信頼される工務店として、6つの『しっかり』を信条に行動します。①しっかりつくる・②しっかり守る・③しっかり持続・④しっかり育てる・⑤しっかりネットワーク・⑥しっかり行動	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 地域木造優良(ちきゆう)住宅国産材モデル『岡山の家』	(地域型住宅供給対象地域) 岡山県全域 及び 近県
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 岡山県建築工事業協会	(結成年) 1995 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0359-0608	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備

【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①	住宅履歴情報の蓄積	
①-1	内容・蓄積の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: JBN維持管理計画書の提出と指定図書を住宅履歴情報としてJBN『いえもり・かると』に蓄積し、登録する。	◎
①-2	情報サービス機関の活用 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
①-3	履歴情報蓄積の確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: JBN『いえもり・かると』の住宅履歴預かり証の提出。	◎
②	メンテナンス基準の整備	
②-1	点検の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 一般社団法人JBNが推進する指定期間(1年・3年・5年・10年・15年・20年・25年・30年)の点検の実施と完了報告の義務化。	◎
②-2	補修の共通ルール <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
②-3	点検補修実施の確認手法 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
③	住まいの管理	
③-1	住まい管理勉強会の実施 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
③-2	DIY体験会等の実施 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
③-3	その他の相談会等の実施 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
④	維持管理委員会等の設置 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
⑤	その他の維持管理の手法 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
b		
①	グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住宅引渡時にお施主に、日常の住まいの管理とお手入れが重要であることを「JBN住まいの管理手帳」を使い住宅のお手入れの仕方を説明する。	○
②	過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ内の施工事業者が工事中に「一」の事が発生した場合は、JBNが提携する瑕疵担保責任保険法人と施主及び事務局が協議の上合意できれば他の施工グループ構成員で積極的に施工サポートが出来る体制を整える。	○
その他	※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	

エ. グループの技術力の向上

【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①	未経験工務店等への施工技術研修会等の開催 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
②-1	品質管理のための共通ルール <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
②-2	上記共通ルールが守られていることの確認手法 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
③-1	需給計画の策定 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
③-2	技術力向上のための中長期的な計画 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
④	③に基づく業種ごとの合理化の取組 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
b		
①-1	省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数 昨年度までの終了者数 20 今年度の参加目標人数 2	○
①-2	省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数 昨年度までの終了者数 今年度の参加目標人数	
②	省エネ技術講習会への参加促進のための取組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 省エネ技術講習会を運営する全園木造生産体制強化促進協議会(全園協議会)の構成団体に(一社)JBNが参加しているため、各都道府県の木造住宅生産体制強化推進協議会(地域協議会)とJBNと連携を図り、グループ施工会社・設計会社・大工等に講習会の周知を図る。	○
c		
①	新たな技術等の導入 <input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
②	新たな技術等の開発 <input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
その他	※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 地域木造優良(ちきゆう)住宅国産材モデル『岡山の家』	(地域型住宅供給対象地域) 岡山県全域 及び 近県
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 岡山県建築工事業協会	(結成年) 1995年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0359-0608	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与		
【平成29年度対応方針】		
a	① 地域材利用に関する共通ルール(必須)	◎建物重さを受ける土台には、耐久性区分でD1樹種のグループ指定の地域材を使用する。 ◎通し柱は4寸以上、その他の柱と土台は3.5寸以上のグループ指定の地域材を使用する。 ◎グループ指定の地域材とは、国産材の合法木材とし、岡山県産材の活用が望ましいが、近県の材も使用可能とする。 ◎グループ指定の地域材の製品出荷時の含水率は25%以下とする。 ※最終出荷者の納品書、木拾い表に地域材種類と使用量が分かる書類と合法木材取扱い事業者登録書を添付の事。
	② 地域材利用の1棟当たりの割合(必須)	■ 50%未満 □ 50%以上 □ 80%以上
	③ 標準的な地域材の使用部位(必須)	土台: □ 使用していない ■ 使用している 柱: □ 使用していない ■ 使用している 主要構造材 梁・桁等の横架材等: ■ 使用していない □ 使用している 羽柄材 間柱、根太、垂木等: ■ 使用していない □ 使用している 造作材 枠材、廻縁等: ■ 使用していない □ 使用している 板材 壁板、床板等: ■ 使用していない □ 使用している
	④ 地域材の流れ(フロー図)などグループの取組に関する補足説明	<p>地域材供給の流れ</p> <p>各事業者間で流通した地域材の種類、使用量が分かる書類提出 (最終出荷者の納品書、木拾い表を添付。また、合法木材取扱い事業者登録証添付) ※本社・工場・営業拠点の所在の違いがある事業者は、各拠点の証明書で可。</p> <p>原木材供給 → 流通 → 製材・集成材製造・合板製材 → 流通 → 建材木村流通 → 流通 → フレカット → 流通 → 施工業者</p> <p>建築請負契約 (タイプ1) → 建築主 建築確認等、代理申請業務 → 設計事務所 設計事務所 → 設計契約 (タイプ1) → 建築主 建築請負契約</p> <p>監督業務 → 設計事務所</p> <p>業者その他: ・住宅履歴情報への登録サポート ・応急仮設木造建築を通じた地域支援 ・工務店事業サポート</p> <p>※半割みの場合はフレカット事業者を通さない場合もある</p>
b	①-1 地域材在庫把握の仕組	■ ない □ ある → 内容:
	①-2 地域材価格の共有の仕組	■ ない □ ある → 内容:
	② グループ全体における地域材の需給予測	■ 行っていない □ 行っている → 内容:
c	①-1 畳の活用	■ 行っていない □ 行っている → 内容:
	①-2 和瓦の活用	■ 行っていない □ 行っている → 内容:
	①-3 襖の活用	■ 行っていない □ 行っている → 内容:
	①-4 障子の活用	■ 行っていない □ 行っている → 内容:
	②-1 その他地域の伝統的な素材の活用	■ 行っていない □ 行っている → 内容:
	②-2 その他地域の伝統的な意匠の活用	■ 行っていない □ 行っている → 内容:
d	① 地域の伝統的なデザインを継承する取組	■ 行っていない □ 行っている → 内容:
	② 地域の住まい方の継承につながる取組	■ 行っていない □ 行っている → 内容:
	③ 地域の街並み形成へ寄与する取組	□ 行っていない ■ 行っている → 内容: 岡山県は景観づくりの先進県として、県による総合的な景観条例を全県でも極めて早く、条例の制定を行った。優れた景観を次の世代に引き継ぐために景観指針として、県民一人ひとりの景観に対する意識を高め、県民と行政が協働して「おかやまの景観づくり」
	④ 和の住まいの要素を取入れた取組	■ 行っていない □ 行っている → 内容:
	その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	
カ. その他		
【平成29年度対応方針】		
	東日本大震災の復興に資する取組	
	平成28年熊本地震の復興に資する取組	岡山県で災害があった場合には地場工務店・大工等の力を結集し災害復興にあたる

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 地域木造優良(ちきゆう)住宅国産材モデル『岡山の家』	(地域型住宅供給対象地域) 岡山県全域 及び 近県
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 岡山県建築工事業協会	(結成年) 1995 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0359-0608	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴

※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。

※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。

ゼロエネ住宅

地域	BEI	太陽光kw
4地域	0.54	4.9
5地域	0.53	4.41
6地域	0.49	3.67

参考☆数		
	水準	基準一次エネ ×水準
☆5	0.8	52.16
☆4	0.85	55.42
☆3	0.9	58.68
☆2	1	65.2

※ 設計一次エネルギー消費量と各星の基準一次エネルギー消費量以下となる☆数の表示となる

地域ごとの参考太陽光kw搭載でゼロエネ住宅を目指す。

認定低炭素については2020年度基準をクリアを目指す。